



いつでも
なんでも
いっしょうけんめい

真野川

稲井中3つの「あ」

あいさつ

あきらめない

あいてのために

【第30号】

発行日
平成25年12月4日

稲井中電話番号
0225-91-2314
FAX 91-2315

人権作文コンテスト 浅野元希君 宮城県奨励賞 村上丈浩君 石巻地区優秀賞

法務省と全国人権擁護委員連合会では、次代を担う中学生が日常の家庭生活や学校生活の中で得た体験に基づく作文を書くことをとおして、人権尊重の大切さや基本的人権についての理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けることをねらいとして作文コンテストを行っています。

今年、稲井中では全校生徒が人権やいじめ問題に前向きに取り組もうと、生徒全員が人権作文を書き応募したところ、2年生の村上丈浩君が石巻地区で優秀賞を、同じく2年生の浅野元希君が宮城県で奨励賞を受賞しました。

地区優秀賞の村上君は自分の体験したことを書いた「脱・いじめ宣言」、県奨励賞の浅野君は、障害をもつお兄さんとのふれあいをとおした体験談「笑って泣いてみんな一緒に」という題の作文でそれぞれ受賞しました。村上君、浅野君おめでとうございます。

県奨励賞を受賞した浅野君の作文を掲載します。親子で読んでいただき、人権について話し合う機会をもっていたければ幸いです。

※作文の掲載に当たっては、本人・ご家庭の了解を得ております



地区優秀賞
村上君



県奨励賞
浅野君

「笑って泣いてみんな一緒に」 稲井中学校 浅野元希

僕には自閉症の兄がいます。兄は支援学校の高等部を卒業して、今は働いています。

兄の仕事は、店の裏、バックヤードと言われている所で野菜詰めをしたり、店の掃除をしたりすることです。家に帰ってから仕事の話をしてくれます。

ダメになつた不良品を並べて叱られたこと、仕事を覚えて時間内に商品の仕分けができてほめられたこと、僕はその話を聞いて、兄はすごいなと思いました。ハンディキャップのある兄は、きっと人一倍努力して仕事をしているのだと思うのです。

兄が支援学校に通っていたので、僕は兄の友達を、障害のある人をたくさん見てきました。他の人にばかにされるところも見てきました。

障害のある人は本当に何もできない人でしょうか。僕はそうは思いません。兄や、兄の友達を見てわかりました。ただ、ちょっと人付き合いが苦手だったり、个性的だったりします。かえって、他の人より頑張っている人が多いです。

兄は、今ちゃんと仕事をしています。でも、ここまでできるようになったのは、本人の努力もあつたとは思いますが、職場の人の理解と協力があつたからだと思ひます。

小さい頃の兄は、自分のことがわかってもらえない時は暴れて大変だったと母は言っていました。僕が生まれた頃には、ずいぶん落ち着いてきたようで、僕をだっこして、ここに笑っている写真があります。僕にとって兄はとても大切な人です。兄の優しさが大好きです。

兄の趣味は陶芸です。料理も得意です。陶芸では素晴らしい作品を作り、日赤病院で展示会をしたりしています。

そして、僕にはもう一人兄がいます。一番上の兄です。長兄は兄のいつでもお手本でした。小学生の頃は長兄の姿を見て一緒に学校に通っていたそうです。長兄はいつも兄の陶芸の才能をほめています。

僕はこの二人の兄を見て育ちました。だから考えます。「障害者だから」と決め付けて、その人の頑張り

を見逃したりするのはとても残念です。僕たちよりすばらしい人もいます。と思います。

小学校の体験学習で、目隠しをして歩いた時、僕は怖くて歩けません。階段で落ちそうになりました。本当に目が見えない人はどうやって歩けるのかと、びっくりしました。

その体験学習の時に、目の見えない人が来てくれて、自分のことをいろいろ話してくれました。そして、なんとピアノを弾いてくれました。僕は思いました。障害のある人にも何か一つ才能があり、他の人よりも優れている。僕たちは、障害のある人をばかにしてはできません。

もちろん、障害のある人の中には思い通りにならないと暴れる人もいます。でも、暴れるからと言って特別扱いしないでください。落ち着いたら話しかけてください。障害のある人も一人の人間です。仲間はずれにせず、みんなで楽しくしてほしいです。

いずれ、一人暮らしをする人もいます。と思います。「人は一人じゃ生きていけない」という人が多いです。僕は一人でも生きていけると思っています。でも、みんなといたら、もっと楽しくなると思ひます。みんなで、障害のある人も、ない人も、笑ってみんなで泣ける社会にしていかなければならないと思ひます。

「障害のある人」「普通の人」という時の「普通」はいったい何でしょう。みんな違います。僕はわかりません。でも、障害者にとっての「普通」とは生きることだと思ひます。

なぜなら、他の人に普通じゃないとばかにされ、耐えきれなくなり命を落とす人もいます。人には一つずつ命があります。みんな生きています。

「障害」や「人と違う」ということで特別扱いをしないでください。優しくなりたい。

みんな一緒に笑ってください。泣いてください。たまにはけんかをして大変だけど一緒に生きてください。僕は、障害のある人にたくさんのことを教えてもらいました。



準決勝で惜敗

IBA（少年軟式野球国際交流協会）主催の新人野球大会で条南中（気仙沼市）一関中（岩手一関市）吉田中（亘理町）矢本一中（東松島市）を下し、ベスト4に残っていた稲井中は、11月30日（土）登米中田球場で山下中（亘理町）と準決勝を行いました。

試合は、初回にエース松川君の投球が真ん中に集まってしまったところを痛打され、2点を失ってしまいました。

稲井中はランナーを出すのですが決定打が出ず、二人の投手の継投の前に抑えられた試合となりました。

稲井	0	0	0	0	0	0	0
亘理山下	2	0	0	0	0	×	2

残念ながら決勝進出は果たせませんでした。今年最後の試合となった野球部の試合で練習の成果が出た意義ある大会となりました。県大会レベルの大きな大会で第3位は見事な成績です。おめでとうございます。

新たな課題に向けて冬場の練習を乗り切り、春につなげてほしいと願っております。

松川大地君 優秀選手賞に



3位以上のチームの選手に送られる個人賞で、エースの松川大地君が優秀選手賞に選ばれました。松川君おめでとうございます。

【松川君のコメント】
この大会を通じて安定したピッチングができました。それもみんなの支えがあつたのでこの賞をもらうことができました。
この結果に満足せずに、みんなの力でもっと上を目指して頑張りたいと思ひます。

12月13日(金) 授業参観・家庭教育学級・学年PTA

昨日お子さんにお知らせを配付しておりますが、12月13日に2学期の授業参観を行います。ご多用のこととは存じますが多く方にご来校いただき、子どもたちの様子をご覧いただければ幸いです。

また、授業参観後には教養部主催の「家庭教育学級」を開催します。演台は「家庭でできるトレーニング」で実技と講話を交えた内容です。当日参加いただける方は、運動のできる服装でおいでください。

日程の最後に学年PTAを行いますのでよろしくお願ひいたします。詳細は「授業参観および家庭教育学級・学年PTAのご案内」のお知らせをご覧ください。

時刻	内容	等
13:00 ～	授業参観	1の1 英語
		1の2 理科
		2の1 社会
		2の2 数学
		3の1 学活
13:50		3の2 保健
		若竹 調理
14:10 ～	家庭教育学級（体育館）	
15:00		
15:10 ～	学年PTA	1年 図書室
		2年 2年1組
		3年 多目的室
		若竹 各学年へ
15:50		

※学級懇談は予定してありません。

FMラジオ石巻(76.4MHz)で放送 浅野君の作文&吹奏楽フェスティバル

今号で紹介した浅野君の人権作文と9月に行われた吹奏楽部の吹奏楽フェスティバルでの演奏はラジオ石巻で放送されることになっていきます。人権作文は浅野君本人の朗読によるものです。どちらも聴いていただければ幸いです。

人権作文 12月5日(木)16:30
吹奏楽部 12月7日(土)12:45